

市政報告

「ヘルプマーク」がスタート

横浜市会議員 竹内やすひろ

各区の高齢・障害支援課の窓口で「ヘルプマーク」の配布が、2017年3月22日からスタートしています。

どこにつけられます。義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要とする方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、2012年

思いやりのある行動を

ヘルプマークは、免許証程度の大きさで赤い樹脂製の素材に白い十字とハートが描かれており、バッグな

ヘルプマークを身に着けた方を見かけた場合は「電車バス内で席をゆずる」困っているようであれば、声をかける」など、思いやりのある行動をしていただければとの思いがこもっています。

このヘルプマークの件については、横浜市会において、私も昨年の5月の定例会本会議一般質問にて取り上げるなど、公明党同僚議員と共に幾度となく取り上げてきたものです。東京発の「ヘルプマーク」を全国の公明党のネットワークで推進しています。

握が困難な方や、肢体に障がいがあり、自力で迅速な避難が困難な方など様々な方へのサポートに繋がればと思います。



横浜市会議員

竹内 やすひろ

- 公明党神奈川県本部幹事長代理
- 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会(副委員長)
- 観光・創造都市・国際戦略特別委員会
- 防災士

事務所 神奈川区大口通127-16 コスガビル1F
☎045-716-6822

障がいがあり状況把握が困難な方、聴覚に

災害時などにおいても、視覚や聴覚に



配布されているヘルプマーク